

- ✓ 設置例・施工例写真大募集!
- ✓ たよレールSOTOEに新商品!
- ✓ バリアフリー2024出展します!
- ✓ 理学療法士からみた手すりハ
- ✓ ちょっと気になるサステナビリティ etc...

好評企画
第7弾!

福祉用具手すり

設置例

一般新築・リフォーム
介護保険住宅改修

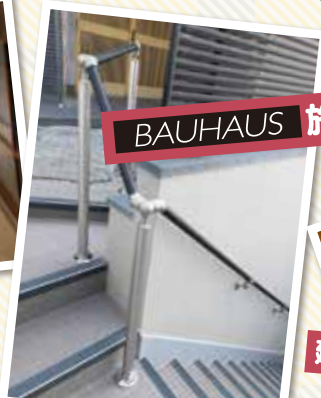
施工例

写真大募集

マツ六の商品を使用した設置例・施工例写真はごさいませんか?
大規模リフォームはもちろん、手すり1本だけでも大歓迎!
ぜひ、あなたの自慢の現場を披露してください!



たよレール 設置例



BAUHAUS 施工例



建具リフォーム例



お絵かき手すり製作例

キャンペーン実施中!

6月30日(日)まで

応募
特典
あり!

特典の内容や詳しい募集要項、ご応募はコチラから

<https://event.mazroc.com/bosyu/photo>

Check!



標準型

たよレールSOTOE indoor

BZK-11/12/15 NEW

BZK-15

新商品が続々!!



移動補助に!
ながーいタイプ

たよレールSOTOE ロング型

BZK-05 NEW

スリム型

たよレール シリーズ 介護保険 貸与

SOTOE

たよレールソトエ

上記
新商品も
展示!

第30回 高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展

バリアフリー 2024

出展します!

4月17日(水) ▶ 19日(金)

10:00~17:00 インテックス大阪

小間番号: 5号館 5-224

福祉住環境
コーディネーター

道

Q

「障害者総合支援法」では、単身での生活が困難な障害者が共同で自立した生活を営む場として、2014(平成26)年にケアホームと【A】を一元化した。一元化後は、障害支援区分にかかわらず利用が可能となり、日常生活上の支援が行われる。支援は、基本サービス部分(日常生活上の援助、個別支援計画の作成など)と利用者の個々のニーズに対応した介護サービス部分の2階建て構造になっている。

A

- ①福祉ホーム
- ②グループホーム
- ③ケアハウス
- ④スマートウェルネス住宅

答えは
裏面へ



Sport(エスポート)
CBRディレクター
理学療法士

和田 圭市

手すり

リハビリテーションの観点で 手すりを提供する

2014年からマツロクプラスにコラムを書き始めて10年が経ちました。11年目に入る前に改めて自己紹介も兼ねた『コラムを書いている理由』について振り返ります。リハビリテーションの観点で手すりを提供する大切さが伝わりますように。

僕が立ち上がり動作について考えるようになったのは、脊髄小脳変性症を患う50代前半の女性との立ち上がり練習がきっかけです。いつか座った姿勢で孫を抱きたいという強い想いで、一生懸命リハビリに取り組みされている方でした。しかし実際は座位をとるだけの筋力はなく、毎日の生活を寝たきり状態で過ごされています。それでも毎回のリハビリの最後には、少しでも下肢体幹の筋力が維持できるようにと立ち上がり練習をしていました。そんなある日のこと、声掛けて立ち上がった瞬間に「ブリッ!」という音が聞こえました。次の瞬間には部屋中に臭いが広がり、脱糞させてしまったことに気づきます。下着の交換をしましょうと提案しても、本人は問題ないと答えるだけで何もさせてもらえません。僕はヘルパーの方へ謝罪とともに下着の交換をお願いするメモを残すことしかできませんでした。時間を巻き戻せるわけでもなく、この大失敗をなかったことにするわけにもいきません。僕にできることは理学療法士として立ち上がり動作と真剣に向き合い直すことだけでした。

立ち上がり動作は座位から立位へ姿勢を変えるための動作です。坐骨が

浮くことで脳は身体に立つ準備をするよう指令を出し、両足で踏ん張る力となる大腿四頭筋の収縮を促します。今までは立つ準備をしていない身体を力づくで引き上げていただけで、無理やり立たせることで脱糞してしまうほど立ち上がり以外の力を出させていました。脳が立ちたいと感じ身体が準備をしてから相手の力を引き出して立ち上がらないと自立支援にはならないわけです。このことに気づいてからは、誰が相手でもその人の力を引き出した立ち上がり介助ができるようになりました。

しかし最近また新しい課題が見つかりました。一人で手すりを持って立ち上がるのに足が滑って尻もちをついたと言うのです。なぜ手すりを持っているにもかかわらず尻もちをついて転ぶのか。それは関節の動きが悪く筋力が低下した高齢者が、手すりに頼って正しい立ち上がり動作を忘れてしまうからです。手すりは万能ではなく、手すりに頼ることで危ない動作となり立ち上がり以外の力が引き出されることもあります。高齢者が増えた今の時代では安全な手すりを作るモノづくりの観点以上に、手すりを使うことで安全な動作を引き出せるリハビリテーションの観点が求められるのです。このコラムでは手すりを提供することで安全な動作を引き出せるよう、理学療法士として様々な場面での手すりの使い方を提案していきます。手すりの提供によりその人の力を引き出して自立支援できることを願っています。

新コーナー



ちょっと気になる

サステナビリティ ①



弊社は2023年4月からサステナビリティ、脱炭素に関連する取組みとしてプロジェクトを始動しました。

取組みを始めてから約1年が経過しましたが、この度、皆様にもサステナビリティ関連の情報をお届けすることとなりました。

本コラムでは、担当者がプロジェクトを進める中で得た豆知識や、素朴な疑問とその答えなどについてお話ししていきます。

さて、弊社はサステナビリティを推進するにあたり、まず取組みとして脱炭素化を課題としました。

一般的にも、数あるグローバルリスクの中で、気候変動は高いウェイトを占めています。2050年までに大幅に温室効果ガス(※CO₂を含む温暖化を促進させる気体)を減らさなければ未来世代の地球環境が危ういと科学的な見地で報告されており、ビジネスの世界でも、グローバル投資家との対話がある上場企業やメガバンクが温室効果ガスの開示と削減を実質義務化されています。

では、脱炭素化とはどのようにすれば達成できるのでしょうか？

弊社の場合はまず「指標」がないことに気づきました。



This month's theme

気候変動対策に取り組む1歩目

何となくプラスチック梱包材を少なくしたり、事業のエネルギーを少なくすれば達成できそうだと目は付いても、減らしたエネルギーがどのくらい貢献するのか見当が付いていませんでした。

脱炭素という言葉は知っていても、温室効果ガスや環境影響を定量化して計算できることをご存じない方は多いかと思えます。

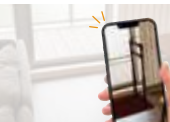
ですが、実は「電気〇〇kwhあたりCO₂は▲▲kg」という係数が存在します。エネルギー量が分かれば、自社組織や1製品あたりの温室効果ガス排出量を計算できます。

気候変動対策は大変なハードルではありますが、まずこの定量化によって、「自社がどれだけ地球に悪いことをしているか」を目に見える形で知ることができます。

もし地球温暖化防止について考えるのであれば、自社のエネルギー利用量を把握することからスタートしてみませんか。



アプリも登録も不要!
MAZROC WebAR
スマホ
デモ機



手すりを 実物大で
バーチャル配置!

さっそくARで
手すりを
置いてみる▶▶

